

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第4回武蔵村山市長期総合計画審議会
開 催 日 時	令和2年2月21日(金) 午前10時から午前11時35分まで
開 催 場 所	武蔵村山市民会館(さくらホール) 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者: 和田委員、阿部(慶)委員、阿部(和)委員、石塚委員、佐藤委員、杉原委員、高橋(玲)委員、田代委員、平野委員 欠席者: 高橋(薫)委員
議 題 等	1 開 会 2 報 告 (1) 第3回武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について (2) 今後のスケジュール等について 3 議 題 (1) 将来都市像について (2) 中間答申(案)について (3) その他
結 論 (決定した方針、 残された問題点、 保留事項等を記載 する。)	議題(1) 将来都市像について: ・将来都市像は、 「みんなでつくる 緑とにぎわいあふれる むさしむらやま」 「伸ばし、つないで 支えあうやさしいまち むさしむらやま」 「人と人との「絆」をつむぐ 誰もが活躍できるまち むさしむらやま」 「みんなで学び 支えあう 絆のまち むさしむらやま」 「みどりとにぎわいあふれ みんなで学ぶ 誰もが活躍できる むさしむらやま」 の5案を審議会の意見とすることに決定した。 議題(2) 中間答申(案)について: ・基本構想素案に対する意見の順を、(2)、(3)、(1)の順に修正し、決定した。 議題(3) その他について: ・次回の審議会は、4月16日(木)の午後3時、次々回の会議は6月25日(木)の午後3時から開催することとした。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 開 会 (会 長) 本日の出席委員は9名であり、半数以上が出席しているため、有効に成立する。傍聴希望者はいなかった。 2 報 告 (1) 第3回武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について (2) 今後のスケジュール等について 資料1、2に基づいて事務局が説明 －質疑・意見等－ (会 長) 審議会はいつまでの開催を予定しているのか。 (事務局) 令和2年9月の答申までを想定している。その後はパブリックコメントや市議会への説明などを経て、計画を決定することとなる。 (委 員) 令和2年3月の中間答申とは何をするのか。 (事務局) 本日の会議で中間答申について審議し、決定したものを市長へ答申することを指している。

2 議 題

(1) 将来都市像について

資料3、4に基づいて事務局が説明

－質疑・意見等－

(委 員) 先月、東京都がモノレールの基本設計に着手するという発表があったが、一部の新聞では「事業着手、令和12年に開業予定」という記事になっていた。しかし、厳密にいうと事業着手ではないので誤解が生じる恐れがある。

(委 員) 市として、駅の設置位置を都へ提案できないか。

(委 員) 駅の予定地については、この計画には具体的に表示しないほうがよい。

(委 員) 不動産業者の中には、土地買収に動いているところもあるという。

(委 員) 農業後継者がいない農家が多くなっており、生産緑地を外すかどうか迷っているところもある。

(事務局) 東大和市、瑞穂町と連携して協議を行っているが、駅の設置位置については都が決定することとなる。

(委 員) 今回は中間答申とのことであるが、最終答申までに情勢の変化があれば基本構想の内容が変わってくるのか。

(事務局) 基本構想についても、最終的には基本計画とあわせて決定することとしている。大きく変わる可能性があるのは予算編成の時期が考えられる。その頃には基本構想の内容も固めることができる。変更する必要が生じた際は、その都度報告する。

(委 員) 都の予算が付くということで、その先の事業認可につながる可能性はどのくらいあるか。

(事務局) 明確な回答はできないが、事業化に進むよう取り組んでいく。

(委 員) 合計特殊出生率が1.55と高かったようだが。

(事務局) 1.55は、都内では高い方だったが、人口置換水準である2.07を下回っている。

(委 員) 保育所の待機児童はゼロになっていないのか。

(事務局) 一時、待機児童数がゼロになった時期はあったが、現在は一部地域で待機児童が生じている状況である。

(会 長) 審議会として市に提案する将来都市像について、5案程度に絞りたいところだが、意見はあるか。

(委 員) 「絆」、「学び」が入っていると良い。

(委 員) 基本的には、市全体でこの将来都市像を目指す、という意思表示として、最後に「むさしむらやま」が入っていた方が良い。

(委 員) 「自然」、「緑」は必要だと思う。

(委 員) 村山大島紬については、これからの市を担う若い人には響かないのではないかと。未来を見据えて、「伸ばし」、「つなぐ」など、前向きな言葉を入れたい。

(委 員) 新たな案として、これまでの意見をすべて統合した「緑とにぎわいあふれ みんなで学ぶ(または、つむぐ) 誰もが活躍できる むさしむらやま」を提案する。

(委 員) 「つむぐ」は、イオンモールに新しくできた、商業ゾーンの名称にも使われており、若い人にも一定の認知度はあると思う。

(委 員) 武蔵村山は地価が安いので、転入してくる人が多いが、長期的にはいかがか。

(事務局) 転入者は年間3,300人程度で、転出者は年間3,000人程度である。転入者で多いのは20代、40代、50代、転出者は20代、30代であり、20代が転出超過となっている。

ここを抑えたい。東側の自治体から転入してきて、西側の自治

	<p>体へ転出する傾向がみられる。</p> <p>また、30歳代、40歳代とその子どもの世帯の転入傾向がある。</p> <p>(委員) 「緑」は、狭山丘陵付近には多くあるが、市街地には少ないため、市民全員には当てはまらないような気がする。</p> <p>(会長) ここまでの意見を踏まえ、 「みんなでつくる 緑とにぎわいあふれる むさしむらやま」 「伸ばし、つないで 支えあうやさしいまち むさしむらやま」 「人と人との「絆」をつむぐ 誰もが活躍できるまち むさしむらやま」 「みんなで学び 支えあう 絆のまち むさしむらやま」 「みどりとにぎわいあふれ みんなで学ぶ 誰もが活躍できる むさしむらやま」 の5案を審議会の意見として、中間答申に記載することとしてよろしいか。</p> <p>(委員) 異議なし。</p> <p>(2) 中間答申(案)について 資料5に基づいて事務局が説明</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>(委員) 企業誘致についての取組は。</p> <p>(事務局) 企業誘致条例があり取り組んでいるが、難しいところである。空いている工場用地があまりない。</p> <p>(委員) 税収を確保するため、事業所や住宅整備を進めていく必要があると思う。</p> <p>(委員) 審議会からの意見の記載順について、重要性の観点から、(2) 多摩都市モノレールの市内延伸に関する検討、(3) 将来都市像に関する検討、(1) SDGsに関する検討、の順にしてはいかがか。</p> <p>(事務局) 案では基本構想素案の記載順としていたが、そのとおり修正する。</p> <p>(会長) 修正した中間答申については、後日確認の上、市長に提出することとしてよろしいか。</p> <p>(委員) 異議なし。</p> <p>(3) その他</p> <p>(事務局) 次回の会議は4月16日(木)の午後3時、次々回の会議は6月25日(木)の午後3時としたい。</p> <p>(委員) 異議なし。</p> <p>(会長) 以上で、議題を終了する。</p>
<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： <u> 0 </u>人</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>{ }</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等：)</p>
<p>庶務担当課</p>	<p>企画財務部 企画政策課(内線：373)</p>